Test-4-X

www.test-4-x.com/driving

United States • FLHSMV Class E Knowledge Exam

Florida

Study Guide

KNOWLEDGE POINTS	CHAPTERS	EDITION
90	8	2026-10-18

© 2026 Test4X. All rights reserved.
For personal study use. Not for resale or redistribution.

Questions or corrections: support@test-4-x.com

Disclaimer

> This study guide is compiled from official government handbooks and other publicly available sources, for educational purposes only. It is intended to help you study and prepare; it does not constitute legal or professional advice.
>
> Rules and regulations change. Always refer to the official handbook published by your licensing authority for the most current and authoritative information. The publisher assumes no liability for any decision made on the basis of this material.
>
> This publication is independent. It is not affiliated with, endorsed by, or sponsored by any licensing or examining authority. All trademarks are the property of their respective owners.

Edition 2026-10-18 • 90 knowledge points • 8 chapters

Spotted an error, or have a question about this guide?
support@test-4-x.com

Contents

01 Chapter 1: DRIVER LICENSES & ID CARDS 1

02 Chapter 2: YOUR DRIVING PRIVILEGE 3

03 Chapter 3: BEFORE YOU DRIVE 8

04 Chapter 4: TRAFFIC CONTROLS 12

05 Chapter 5: DRIVING SAFETY 15

06 Chapter 6: SPECIAL DRIVING SITUATIONS 21

07 Chapter 7: HANDLING EMERGENCIES 23

08 Chapter 8: SHARING THE ROAD 28

CHAPTER 1

Chapter 1: DRIVER LICENSES & ID CARDS

1.1 新規居住者のためのフロリダ州運転免許証の要件

フロリダ州の法律は、州の運転免許証を取得しなければならない者を定めています。すべての永住者は運転のために免許証を所持する必要がありますが、仕事や子供を公立学校に入学させることで州と重要なつながりを築いた非居住者には、特定の規則が適用されます。これらの個人には、フロリダ州の免許法を遵守するための特定の期間が与えられます。

- ✓ フロリダ州に引っ越し、雇用を受けたり事業に従事したりする場合、30日以内にフロリダ州の運転免許証を取得しなければなりません。
- ✓ 子供をフロリダ州の公立学校に入学させる場合、30日以内にフロリダ州の運転免許証を取得する必要があります。
- ✓ 主な居住地がフロリダ州に6ヶ月以上連続してある場合、その人は居住者と見なされます。

1.2 クラスE免許における車両運転の制限

クラスE免許は、フロリダ州における標準的な非商用運転免許です。この免許の保有者は、ほとんどの自家用車、トラック、バンを運転することが許可されます。運転できる車両は車両の重量によって定義され、オートバイなどの特定の車両には特別な裏書（endorsement）が必要です。

- ✓ クラスE免許では、車両総重量（GVWR）が26,001ポンド未満の非商用車を運転することが許可されます。
- ✓ エンジン排気量が50立方センチメートル（cc）を超えるオートバイを運転するには、運転免許にオートバイの裏書があるか、「オートバイ専用」免許を所持している必要があります。

1.3 フロリダ州運転免許証の取得免除

特定の個人は、他の管轄区域の有効な免許証を使用してフロリダ州で運転することが許可されており、フロリダ州の免許証を取得する必要はありません。これらの免除は、通常、学生、軍人、一部の州外通勤者などの一時的な居住者に適用されます。

- ✓ フロリダ州の大学に通う非居住者の学生は、フロリダ州運転免許証の取得が免除されます。
- ✓ フロリダ州に駐留する軍隊の構成員、およびその配偶者と扶養家族は、出身州の有効な免許証を保持している場合、免除されます。
- ✓ 16歳以上の非居住者は、他の米国州または準州の有効な非商用運転免許証でフロリダ州で運転できます。

1.4 商用運転免許証（CDL）が必要な場合

クラスEの免許では、大型商用車を運転することはできません。車両の重量、乗車定員、または危険物を輸送するために使用されるかどうかに基づいて、商用運転免許証（CDL）が必要です。これらの違いを理解することは、合法的な車両の運転にとって極めて重要です。

- ✓ 車両総重量（GVWR）が26,001ポンド以上の単一車両を運転するには、CDLが必要です。
- ✓ 運転手を含め16人以上の乗客を輸送するように設計された車両を運転するには、CDLが必要です。
- ✓ 危険物標識の表示が義務付けられている、あらゆるサイズの車両にはCDLが必要です。

CHAPTER 2

Chapter 2: YOUR DRIVING PRIVILEGE

2.1 フロリダ州の無過失保険要件 (PIP & PDL)

フロリダ州の無過失法（No-Fault Law）は、州内で登録されているすべての自動車の所有者に対し、人身傷害保護保険（PIP）および対物賠償責任保険（PDL）の証明書を携帯することを義務付けています。PIPは、事故の際の過失の有無にかかわらず、ご自身の負傷を補償します。一方、PDLは、他人の所有物に与えた損害を補償します。この保険はフロリダ州で認可された代理店から購入し、車両の登録期間中、継続して維持しなければなりません。

- ✓ 最低10,000ドルの人身傷害保護保険（PIP）に加入している必要があります。
- ✓ 最低10,000ドルの対物賠償責任保険（PDL）に加入している必要があります。
- ✓ 必要な保険を維持しない場合、運転免許証とナンバープレートが最長3年間停止される可能性があります。
- ✓ フロリダ州で車両を登録するには保険の証明書を提出する必要があり、運転中は常に保険の証明書を携帯しなければなりません。

2.2 無保険運転の結果

法執行官に停止され、保険の証明を提示できない場合、違反切符を切られることがあります。有罪判決を受けた場合、運転免許証とナンバープレートが停止されます。停止を解除するには、保険に加入し、150ドルから500ドルの回復手数料を支払う必要があります。この理由で免許が停止された場合、仕事を含め、いかなる理由でも一時的な免許や困難な状況のための免許（hardship license）を取得する資格はありません。

- ✓ 無保険による免許停止後に免許を回復するには、保険に加入し、150ドルから500ドルの回復手数料を支払う必要があります。
- ✓ 保険違反で免許が停止された場合、いかなる理由でも一時的な免許を取得することはできません。
- ✓ 保険違反で停止された免許で運転することは第一級軽犯罪（first-degree misdemeanor）であり、最大1年の懲役と1,000ドルの罰金が科せられます。

2.3 財政責任法と高額補償

基本的なPIP（人身傷害保護）およびPDL（対物損害賠償責任）の要件に加え、特定の有罪判決や事案の後には、財政責任法により、より高額な保険限度額を維持することが求められる場合があります。例えば、DUI（飲酒運転）で有罪判決を受けると、BIL（対人賠償責任）保険への加入が義務付けられます。この法律は、より高いリスクを示したドライバーが、将来の衝突事故で引き起こす可能性のある損害を財政的に補償できることを保証するものです。

- ✓ DUIで有罪判決を受けると、3年間、1名につき最低10万ドルのBIL、2名以上につき30万ドルのBIL、そして5万ドルのPDLの補償を維持する必要があります。
- ✓ 違反点数の超過により免許が停止された場合、または負傷者を伴う衝突事故を起こした場合は、1名につき1万ドル、2名以上につき2万ドルのBIL補償が求められることがあります。

2.4 影響下運転 (DUI) と黙示の同意法

血中アルコール濃度 (BAL) が.08以上であるか、アルコールまたは規制薬物の影響下で車両を運転または物理的に制御している場合、DUI (影響下運転) で起訴される可能性があります。フロリダ州の黙示の同意法とは、運転免許証に署名することにより、法執行官があなたの影響下にあると疑った場合に、呼気、血液、または尿の検査を受けることに同意したことを意味します。

- ✓ 必要な血液、呼気、または尿の検査を初回に拒否した場合、自動的に1年間の免許停止処分となります。
- ✓ 2回目の検査拒否は、18ヶ月の免許停止処分となり、第一級軽犯罪とみなされます。
- ✓ 逮捕時に血中アルコール濃度 (BAL) が.08以上であった場合、あなたの免許は行政処分として停止されます。

2.5 21歳未満のドライバーに対するゼロ・トレランス法

フロリダ州では、21歳未満のドライバーに対して厳格なゼロ・トレランス（不寛容）方針を採用しています。これらのドライバーに対する法的な血中アルコール濃度（BAL）の許容上限値は大幅に低く設定されており、いかなる量のアルコールでも、刑事罰であるDUI（飲酒運転）とは別に、即時かつ行政上の罰則が科されます。

- ✓ 21歳未満のドライバーが法執行機関に停止され、血中アルコール濃度（BAL）が0.02以上であった場合、運転資格は自動的に6か月間停止されます。
- ✓ 血中アルコール濃度（BAL）が0.05以上の21歳未満のドライバーは、薬物乱用に関する講習の受講が義務付けられます。

2.6 フロリダ州の運転免許点数制度

フロリダ州では、交通違反（moving violations）を記録するために点数制度を使用しています。特定の期間内に点数が蓄積しすぎると、運転資格が停止されます。停止期間は、点数とそれが蓄積される速さに応じて長くなります。

- ✓ 12ヶ月以内に12点が累積した場合、30日間の免許停止となります。
- ✓ 18ヶ月以内に18点が累積した場合、3ヶ月間の免許停止となります。
- ✓ 36ヶ月以内に24点が累積した場合、1年間の免許停止となります。

2.7 子供用安全拘束装置の要件

フロリダ州法は、自動車に乗車中の子供の安全を確保するため、年齢に基づいた特定の安全拘束装置の使用を義務付けています。運転手は、18歳未満のすべての同乗者が適切に拘束されていることを確認する法的責任を負います。13歳未満の子供は、可能な限り後部座席に座らせる必要があります。

- ✓ 4歳未満の子供は、適切なチャイルドシートに固定する必要があります。
- ✓ 4歳と5歳の子供は、チャイルドシートまたはブースターシートのいずれかに固定する必要があります。
- ✓ 18歳未満の同乗者が適切に拘束されていない場合、運転手は違反で起訴されます。

2.8 未成年ドライバーの運転禁止時間帯

新規ドライバーの安全を確保するため、フロリダ州法は18歳未満の免許保持者に対し、特定の運転禁止時間帯を設けています。これらの制限は年齢によって異なり、未成年者が通勤のために運転している場合、または21歳以上の免許保持者が同乗している場合は解除されます。

- ✓ 16歳の免許保持者は、仕事目的であるか、21歳以上の免許保持者が同乗している場合を除き、午後11時から午前6時までの間は運転できません。
- ✓ 17歳の免許保持者は、仕事目的であるか、21歳以上の免許保持者が同乗している場合を除き、午前1時から午前5時までの間は運転できません。
- ✓ 学習者用許可証 (Learner's License) を持つ未成年者は、最初の3か月間は日中のみ運転しなければならず、その後は午後10時まで運転できます。

2.9 停車中のスクールバスの追い越しに対する罰則

停止信号を表示して停車中のスクールバスを違法に追い越すことは、重大な違反行為であり、裁判所への出頭義務、罰金、免許の違反点数など、重い罰則が科せられます。子供たちが乗り降りする側で違反を犯した場合、罰金は大幅に増額されます。

- ✓ 停車中のスクールバスを追い越すと、運転免許に最低4点の違反点数が科せられます。
- ✓ 最低罰金は265ドルで、子供たちが乗り降りする側で追い越した場合は最低465ドルに増額されます。
- ✓ 停車中のスクールバスを追い越した場合、基本的なドライバー改善コースを修了しなければなりません。

2.10 未成年ドライバーに対する点数制度の制限

18歳未満のドライバーは、点数制度の下でより厳しい罰則に直面します。比較的少数の点数が累積すると、免許停止ではなく、即時の運転制限が課されます。

- ✓ 18歳未満のドライバーが12ヶ月以内に6点以上を累積した場合、自動的に1年間、「業務目的のみ」(Business Purposes Only)の運転に制限されます。
- ✓ 制限期間中に追加の点数が累積した場合、受け取った追加の1点ごとに制限が90日間延長されます。

2.11 フロリダ州のシートベルト法

フロリダ州では、運転手および特定の同乗者はシートベルトの着用が義務付けられています。法律では、18歳未満の同乗者については運転手に責任があり、大人の同乗者は自己責任となります。エアバッグは補助的な安全装置であり、シートベルトの代わりにはなりません。

- ✓ すべての運転手、助手席の同乗者、および18歳未満のすべての同乗者はシートベルトを着用しなければなりません。
- ✓ 18歳以上の同乗者は、着用義務があるにもかかわらずシートベルトを着用していない場合、違反切符を切られることがあります。
- ✓ 衝突事故の際、シートベルトは車外への放出を防ぎ、車両のコントロールを維持するのに役立ちます。

2.12 大幅なスピード違反に対する罰則

全てのスピード違反は違法ですが、フロリダ州では、大幅な速度超過や、スクールゾーンや工事区域などの指定された安全地帯でのスピード違反に対して、著しく高額な罰金を科しています。これらの違反は、義務的な運転技術向上講習につながる可能性もあります。

- ✓ スクールゾーンまたは工事区域内で発生したスピード違反に対する罰金は2倍になります。
- ✓ 制限速度を時速50マイル以上超過した場合の罰金は、初犯で1,000ドル、再犯で2,500ドルです。

2.13 「3年間で3回の衝突事故」法

この法律は、繰り返し衝突事故を起こすドライバーを対象としています。36ヶ月以内に衝突事故を引き起こした3回目の交通違反で有罪判決を受けた場合、運転免許を維持するために広範な再訓練と再試験を完了しなければなりません。

- ✓ 12時間の上級運転者講習（ADI）を修了しなければなりません。
- ✓ 認可された商業自動車教習所で4時間の実地運転訓練を受けなければなりません。
- ✓ 有罪判決から90日以内にこれらの要件を完了しない場合、免許は取り消されます。

CHAPTER 3

Chapter 3: BEFORE YOU DRIVE

3.1 フロリダ州の脇見運転に関する法律

脇見運転とは、運転から注意をそらすあらゆる活動を指します。注意散漫には3つのタイプがあります：視覚的（道路から目を離す）、手動的（ハンドルから手を離す）、認知的（運転から意識がそれる）。携帯電話でのメール送信（テキスティング）は、これら3つすべてを含むため特に危険です。フロリダ州法は、運転中のテキスティングを明確に禁止しており、またスクールゾーンや作業区域での携帯無線機器の使用も禁じています。

- ✓ フロリダ州では、テキストメッセージを送りながら自動車を運転することは違法です。
- ✓ フロリダ州法は、指定されたスクールクロッシング、スクールゾーン、または作業区域内で、携帯無線通信機器を手に持って使用しながら自動車を運転することを禁じています。

3.2 飲酒運転の結果と影響

アルコールの摂取は、安全な運転に必要なスキルを著しく損ないます。人の判断力は、アルコールによって最初に影響を受ける能力です。たった一杯の飲酒でも、反射神経や反応時間を鈍らせ、はっきりと見る能力を低下させる可能性があります。フロリダ州における飲酒運転（DUI）の罰則は、厳しく長期間にわたります。

- ✓ アルコール飲料を飲んだ後、最初に影響を受けるのは人の判断力です。
- ✓ フロリダ州では、DUIによる有罪判決は、運転記録に75年間残らなければなりません。

3.3 薬物の影響下での運転

合法的な処方薬や市販薬を含む、あらゆる薬物の影響下で運転することは違法です。また、アルコールによるDUI（飲酒運転）と同じ罰則が科せられます。薬のラベルをチェックして、その効果に関する警告を確認することが極めて重要です。薬物とアルコールを併用すると、双方の能力を低下させる効果が倍増する可能性があります。

- ✓ 薬物の影響下での運転は違法であり、アルコールの影響下での運転と同じ罰則が適用されます。
- ✓ アルコールと薬物を併用すると、多くの場合、双方の効果が倍増し、運転が極めて危険になります。

3.4 必須車両安全装置の基準

フロリダ州のすべての車両は、法的基準を満たす特定の安全装置を装備しなければなりません。これには、ライト、ブレーキ、ミラー、その他の部品が含まれ、安全を確保するために正常に機能し、指定された距離から視認できる必要があります。

- ✓ ロービームヘッドライトは前方150フィートの物体を、ハイビームヘッドライトは前方450フィートの物体を照らす必要があります。
- ✓ あなたの車には、日中に300フィートの距離から視認できる2つの赤いブレーキライトがなければなりません。

3.5 ABSと従来型ブレーキの適切な使用法

緊急時に安全に停止するためには、ご自身の車にどのタイプのブレーキシステムが搭載されているかを知ることが非常に重要です。アンチロック・ブレーキ・システム（ABS）と従来型のブレーキでは、横滑りを防ぎ、コントロールを維持するために異なる技術が必要です。

- ✓ ご自身の車にアンチロック・ブレーキ・システム（ABS）が搭載されている場合、緊急時にはブレーキペダルを強く踏み込み、そのまま保持し、危険を避けるようにハンドルを操作しなければなりません。
- ✓ ご自身の車に従来型のブレーキが搭載されている場合、トラクションが失われた緊急事態では、ブレーキを数回に分けて踏む（ポンピングブレーキ）ことで停止しなければなりません。

3.6 心身の状態が運転に与える影響

ドライバーの心身の状態は、安全な車両の操作にとって極めて重要です。病気、薬、そして強い感情は、運転能力を著しく損なう可能性があります。ハンドルを握る前に自身の状態を認識することは、ドライバーの責任です。処方薬については、運転への潜在的な影響について必ず医師または薬剤師に相談してください。怒りや心配のような強い感情は、携帯電話の使用と同じくらい注意を散漫にさせることがあります。

- ✓ 薬を処方された場合は、それが運転にどのように影響するかを医師または薬剤師に尋ねなければなりません。
- ✓ 強い感情は運転への注意をそらし、道路上の状況への反応の仕方を変える可能性があります。

3.7 居眠り運転の危険性と予防

疲れている、または疲労している状態での運転は、飲酒運転と同じくらい危険な場合があります。眠気は思考プロセスと反応時間を遅らせ、判断力と視力に影響を与え、マイクロ・スリープ（瞬間的な居眠り）や運転中に眠ってしまうことにつながる可能性があります。居眠り運転を避けるためには、十分な睡眠をとり、長距離の移動では定期的に休憩をとってください。

- ✓ 疲労は反応時間を遅らせ、感覚を鈍らせるため、飲酒運転と同じくらい危険な場合があります。
- ✓ 長距離の移動では、居眠り運転を防ぐために100マイルごと、または2時間ごとに休憩をとるべきです。

3.8 ロードレイジ（あおり運転）の特定と対応

ロードレイジとは、ドライバーによる暴力的または怒りに満ちた行動です。攻撃的なドライバーに遭遇した場合は、相手にしないようにしてください。冷静を保ち、アイコンタクトやわいせつなジェスチャーを避け、自分の車と相手の車との間にできるだけ距離を置いてください。助けが必要な場合は、法執行機関に連絡してください。

- ✓ 他のドライバーがあなたを脅したり、あなたの周りで危険な運転をしたりしている場合は、速度を落として先に行かせて距離をとりましょう。
- ✓ 攻撃的なドライバーへの対応で助けが必要な場合は、*FHP（*347）または911に電話してください。

3.9 フロリダ州の車両登録と更新の要件

フロリダ州で所有される車両は、フロリダ州の登録とナンバープレートが必要です。雇用されている、または公立学校に通う子供がいる新規居住者は、特定の期間内に車両を登録しなければなりません。車両登録は定期的に更新する必要があり、ほとんどの自家用車の場合、有効期限は所有者の誕生日に結び付けられています。

- ✓ フロリダ州で就職した、または子供を公立学校に入学させた非居住者は、10日以内にフロリダ州の登録とナンバープレートを取得しなければなりません。
- ✓ ほとんどの車両では、登録は登録フォームに記載されている最初の所有者の誕生日の深夜0時に失効します。

3.10 フロリダ州で禁止されている車両装備

フロリダ州では、特定の種類の装備は、注意散漫や危険の原因となったり、緊急車両の識別を妨げたりする可能性があるため、自家用車への搭載が許可されていません。これには、特定の色のライト、サイレン、および過度に大きなマフラーが含まれます。

- ✓ 車両の前面から見える赤色または青色のライトは、緊急車両および法執行車両用に予約されているため、禁止されています。
- ✓ 自家用車にサイレン、ベル、またはホイッスルを搭載することは許可されていません。

3.11 牽引接続と積荷の安全に関する規則

トレーラーや他の車両を牽引する場合、接続は安全で、特定の長さの要件を満たす必要があります。運搬される積荷は、車両から落下、移動、漏出、またはその他の方法で脱落しないように固定しなければなりません。

- ✓ ドローバーまたは牽引接続具は、容易に分解できない物体を牽引する場合を除き、長さが15フィートを超えてはなりません。
- ✓ 牽引接続具がチェーン、ロープ、またはケーブルである場合、少なくとも12平方インチの白い旗を取り付けなければなりません。

3.12 積載物のはみ出しに関する表示要件

車両の後部または側面から著しく突き出ている積載物は、他のドライバーに見えるよう明確に表示する必要があります。表示要件は昼間と夜間で異なります。

- ✓ 昼間、車両の後方へ4フィート以上はみ出す積載物には、それぞれ最低18平方インチの赤い旗で表示しなければなりません。
- ✓ 夜間、後方へ4フィートを超えてはみ出す積載物には、最低500フィートの距離から見える赤いランプを2つ付けて表示しなければなりません。

3.13 フロリダ州のバンパーの高さに関する要件

フロリダ州法は、自動車およびトラックのバンパーの最大高さを定めており、これは車両の正味出荷重量によって決定されます。これらの規制は、衝突時に車両間の互換性を確保するために設けられています。

- ✓ バンパーの高さ制限は、改造または変更された重量ではなく、車両の正味出荷重量によって規定されます。
- ✓ 重量が2,500ポンド (lbs) 未満の乗用車の場合、フロントバンパーとリアバンパーの両方に許容される最大高さは22インチ (inches) です。

CHAPTER 4

Chapter 4: TRAFFIC CONTROLS

4.1 白色の車線の理解

白色の車線は、同じ方向に進む交通レーンを区切るために使用されます。線の種類（破線、実線、または二重実線）によって、車線変更が許可されるか、推奨されないか、または固く禁止されるかが決まります。これらの標示は、安全な車線規律を維持するために不可欠です。

- ✓ 一本の白色の破線は、安全な場合に線を越えて車線変更ができることを示します。
- ✓ 二重の白色の実線は、車線変更のために線を越えることが許可されていないことを示します。

4.2 黄色の車線表示の理解

黄色の車線は、対向車線を分離します。実線と破線の黄色の線の組み合わせによって、他の車両を追い越すことが許可される場合が決まります。合法的に追い越しや左折をする場合を除き、常に黄色の車線の右側を走行しなければなりません。

- ✓ 二重の黄色い実線は、どちらの方向に進む車両も線を越えたり追い越したりしてはならないことを意味しますが、安全な場合には左折することができます。
- ✓ 自分の側の黄色い線が破線の場合、安全であれば追い越しが許可されます。自分の側の線が実線の場合、追い越しは許可されません。

4.3 中央左折レーンの使用

一部の対面通行道路には、どちらの方向から来る車両も左折できるように中央にレーンが設けられています。このレーンは左折を開始するためだけのものであり、追い越しなど他の目的で使用してはなりません。

- ✓ 中央の左折レーンは共有されており、どちらの方向のドライバーも左折するために使用できます。
- ✓ 中央の左折レーンを他の車両の追い越しや直進レーンとして使用してはなりません。

4.4 停止線と横断歩道での停止

白色の実線の停止線と標示のある横断歩道は、交差点における重要な交通規制です。これらは、一時停止標識や赤信号で車両が完全に停止しなければならない正確な地点を示し、歩行者が優先通行権を持つエリアを指定します。

- ✓ 停止する必要がある場合、車両のいかなる部分も白色の実線の停止線を越える前に、車両を完全に停止させなければなりません。
- ✓ 運転手は、標示のある横断歩道を渡っている歩行者に常に優先通行権を譲らなければなりません。

4.5 交通標識の色の解釈

交通標識の色は、その意味を即座に理解する手がかりとなります。各色は、規制、警告、または方向案内といった特定のメッセージを表すように標準化されています。これらのカラーコードを知ることは、試験の道路標識セクションに合格するために不可欠です。

- ✓ 赤色は、「止まれ (Stop)」、「譲れ (Yield)」、「進入禁止 (Do Not Enter)」、「逆走 (Wrong Way)」など、即時の行動を必要とする標識に使用されます。
- ✓ 黄色は一般的な警告標識の標準色であり、オレンジ色は建設およびメンテナンス区域の警告標識にのみ使用されます。

4.6 一時停止および譲れ（Yield）の標識に従う

一時停止（Stop）および譲れ（Yield）の標識は、優先通行権を管理する規制標識です。一時停止の標識は完全な停止を要求します。全方向一時停止（All-Way Stop）には、誰が先に進むかを決定するための特定のルールがあります。譲れの標識は、減速して横切る車両に優先通行権を譲ることを要求します。

- ✓ 全方向一時停止の交差点では、最初に交差点に到着した車両が先に進むべきです。2台の車両が同時に到着した場合、左側の運転手は右側の運転手に道を譲らなければなりません。
- ✓ 譲れの標識は、あなたの進路を横切る車両に減速して優先通行権を譲らなければならないことを意味します。道が空いていない場合にのみ停止する必要があります。

4.7 速度規制標識の理解

速度を規制する標識は、道路区間の最高法定速度を定めます。フロリダ州では、速度違反の罰金が2倍になることを示す標識や、出口ランプなどの状況に応じた安全な速度を推奨する標識も使用されています。

- ✓ 「制限速度」(Speed Limit) 標識は、理想的な条件下で走行できる最高法定速度を示します。
- ✓ 「速度違反罰金2倍」(Speeding Fines Doubled) 標識は、スクールゾーンや工事区域内に設置されており、これらの区域で速度違反の切符を切られると、罰金が2倍になります。

4.8 禁止行為を示す標識の認識

記号の上に赤い円と斜線が描かれた規制標識や、「進入禁止 (Do Not Enter)」や「逆走 (Wrong Way)」のような標識は、固く禁じられている行為を示します。これらの標識は、事故を防ぎ、交通の流れを維持するために不可欠です。

- ✓ Uターンや右折などの行為を横切る赤い円と赤い斜線が描かれた標識は、その行為が禁止されていることを意味します。
- ✓ 「逆走 (Wrong Way)」の標識は、法的な交通の流れに逆らって走行していることを示しており、直ちに安全に方向転換しなければなりません。

4.9 警告標識への対応

警告標識は、通常は黄色いひし形で、前方の潜在的な危険や道路状況の変化を警告するために設置されています。警告標識を見たら、速度を落とし、注意して進むべきです。

- ✓ ひし形の標識は、急カーブ、合流交通、または前方の停止標識などの状況を警告する警告標識です。
- ✓ 「推奨速度標識」(Advisory Speed Sign) は、警告標識（カーブ標識など）に付随して、その特定の危険箇所での最大安全速度を推奨するために設置されることがあります。

4.10 自転車レーンでの道路の共有

フロリダ州の道路には、自転車利用者のための指定レーンが設けられていることがよくあります。自転車専用レーンは実線の白線で区切られており、共用レーンには自転車利用者が車線全体を使用できることを示す「シェアロー（sharrows）」が記されています。自動車運転者はこれらの標示を尊重し、自転車利用者に道を譲らなければなりません。

- ✓ 自動車は自転車専用レーンを走行することが禁止されています。自転車利用者がいない場合に限り、交差点で曲がるために横切ることができます。
- ✓ 「シェアロー（sharrows）」として知られる共用レーン表示は、自転車利用者が合法的に走行車線全体を使用できることを自動車運転者に警告します。

4.11 車線利用および方向指示標識の遵守

規制標識は、特定の車線からの転回を義務付けたり、低速の車両を右側に維持させたりするなど、車線利用に関する強制的な指示を提供します。これらの標識は通常、白と黒で、法的に強制力があります。

- ✓ 「Slower Traffic Keep Right」（低速車は右側通行）の標識は、速度の遅い車両が右側の車線を走行し続けなければならないことを義務付けており、特に速い車両に追い越される場合に適用されます。
- ✓ 矢印と「Left Lane Must Turn Left」（左車線は左折のみ）というテキストが表示された標識は、その車線から直進することはできず、左折しなければならないことを意味します。

4.12 ナビゲーションのための案内標識の使用

案内標識は、現在地、目的地、および周辺のサービスに関する情報を提供します。色分けされています：緑は方面と距離、青はドライバー向けサービス、茶色はレクリエーション施設や文化施設を示します。

- ✓ フロリダ州では、州間高速道路の緑色の案内標識は、マイルマーカーに対応した出口番号システムを使用しています。
- ✓ 青と白のサービス標識は、ガソリンスタンド、飲食店、モーテル、病院などの必要不可欠なサービスへ誘導します。

CHAPTER 5

Chapter 5: DRIVING SAFETY

5.1 赤信号の規則

赤信号では、運転手は停止線または横断歩道の手前で完全に停止しなければなりません。停止後、特定の状況下では、禁止標識がなく、交通や歩行者の妨げにならない場合に限り、赤信号での右左折が許可されます。

- ✓ 赤信号に直面した場合、停止線の手前で完全に停止しなければなりません。
- ✓ 停止後、「NO TURN ON RED」（赤信号時右折禁止）の標識がなく、安全が確認できれば、赤信号で右折することができます。
- ✓ 一方通行の道路から別の一方通行の道路へは、停止後、安全が確認できれば、赤信号で左折することができます。
- ✓ 赤信号で右左折する前には、すべての歩行者と対向車に優先権を譲らなければなりません。

5.2 黄色信号と青信号への対応

黄色信号は、信号が間もなく赤に変わるという警告であり、安全に停止できる場合は停止しなければなりません。青信号は進行できることを示しますが、交差点内に残っている車両や歩行者に道を譲った後に限ります。

- ✓ 黄色信号は信号が赤に変わることを意味します。安全に停止できる場合は停止しなければなりません。
- ✓ 青信号は進行できることを意味しますが、交差点が空いている場合に限ります。
- ✓ 青信号で左折する際は、対向車と歩行者に道を譲らなければなりません。

5.3 交通矢印信号の理解

交通矢印信号は、転回（ターン）の動きを制御します。緑色の矢印は「保護された」ターンを提供し、対向車が停止していることを意味します。黄色の矢印は、保護されたターンが終了することを警告します。赤色の矢印は、その方向への転回を禁止します。

- ✓ 緑色の矢印は、すでに交差点内にいる人や車両に道を譲った後、矢印の方向に曲がることができることを示します。
- ✓ 赤色の矢印は、停止しなければならず、矢印が示す方向への進行はできないことを意味します。
- ✓ 黄色の矢印は、緑色の矢印信号が終了することを示しており、停止の準備をするか、交差点を通過し終える必要があります。
- ✓ 黄色の点滅矢印は、転回は許可されていますが、最初に対向車や歩行者に道を譲らなければならないことを意味します。

5.4 点滅信号の規則

点滅信号は、危険な交差点や警告のために使用されます。赤色の点滅信号は一時停止の標識と同様に扱われ、完全な停止が求められます。黄色の点滅信号は、速度を落として注意して進むよう警告するものです。

- ✓ 赤色の点滅信号は一時停止の標識と同じ意味を持ちます。完全に停止し、安全な場合にのみ進行しなければなりません。
- ✓ 黄色の点滅信号は警告信号です。交差点や危険区域を通過する際は、速度を落とし、注意して進行しなければなりません。

5.5 踏切での安全規則

踏切に近づく際は、速度を落とし、停止する準備をしなければなりません。線路上で停止したり、下がっている遮断機を迂回して運転したりすることは、違法であり非常に危険です。

- ✓ 警報装置が点滅している、遮断機が下りている、または列車が見える場合は、最も近い線路から15フィート以上離れて停止しなければなりません。
- ✓ 遮断機が下りているか、開閉中であるかに関わらず、その周りを運転したり下をくぐったりすることは法律違反です。
- ✓ 踏切にある十字の標識（クロスバックサイン）は「譲れ」の標識です。列車に優先通行権を譲らなければなりません。
- ✓ 横断する前に、線路上で停止することなく、線路の向こう側に自分の車のための十分なスペースがあることを確認してください。

5.6 スクールゾーンの標識と速度制限

スクールゾーンは、学校や子供がいることをドライバーに警告するための特定の標識で示されています。時刻や点滅するライトで示されている場合は、ドライバーは減速された制限速度を遵守しなければなりません。

- ✓ 標識に示された時間帯、または警告灯が点滅している間は、掲示されているスクールゾーンの制限速度に従わなければなりません。
- ✓ 通学時間中だけでなく、常に学校の近くの子供たちに注意を払わなければなりません。
- ✓ 学童擁護員（スクールクロッシングガード）からのいかなる合図にも従わなければなりません。

5.7 死角の理解と管理

死角とは、ミラーでは見ることができない車両周辺のエリアのことです。車線変更、追い越し、または方向転換をする前に、衝突を避けるために首を回してこれらのエリアを確認することが非常に重要です。

- ✓ 死角は、車両の左右の後部コーナー付近にあり、ミラーでは見えないエリアです。
- ✓ 車線を変更したり、他の車両を追い越したり、特定の方向転換をしたりする前には、必ず首を回して死角を確認しなければなりません。
- ✓ 他のドライバーの死角で運転することは避けてください。相手があなたを見ることができるように、速度を上げるか落とすかしてください。

5.8 総停止距離と速度の影響

総停止距離とは、認知、反応、ブレーキの間に車両が走行する距離を合わせたものです。この距離は速度に伴って指数関数的に増加します。時速50マイル（MPH）での最低総停止距離は、フットボール競技場（268フィート）の長さにほぼ匹敵します。

- ✓ 速度を時速20マイルから40マイルに倍増させると、制動距離と衝撃は4倍に増加します。
- ✓ 速度を3倍にすると、制動距離と衝撃は9倍に増加します。
- ✓ 総停止距離は、認知距離、反応距離、制動距離の合計です。

5.9 安全な車間距離の維持

追突事故を防ぐため、ドライバーは安全な車間距離を維持しなければなりません。良好な状況で推奨される最短距離は4秒です。悪天候時、大型車の後方を走行する場合、またはその他の特定の状況では、この距離を長くする必要があります。

- ✓ 天候や交通状況が良好な場合は、最低4秒の車間距離を保ってください。
- ✓ 雨天時、視界が悪い場合、またはオートバイの後方を走行する場合は、車間距離をさらに長くしてください。
- ✓ 法律により、緊急出動中の消防車に500フィートより近づいて追従してはなりません。
- ✓ 他の車両を牽引しているトラックや車両は、追い越し時や都市部を除き、別のトラックや牽引されている車両から300フィート以内に接近してはなりません。

5.10 交差点での優先権

優先権のルールは、衝突を避けるために交差点で誰が先に進むべきかを定めています。四方一時停止の交差点では、最初に到着した車が先に進みます。2台の車が同時に到着した場合、左側の運転手は右側の運転手に道を譲らなければなりません。

- ✓ 四方一時停止の交差点では、最初に交差点に到達した車が先に進むべきです。
- ✓ 2台の車が四方一時停止の交差点に同時に到着した場合、左側の運転手は右側の運転手に道を譲らなければなりません。
- ✓ 標識や信号のない開かれた交差点では、すでに交差点内にいる車に道を譲らなければなりません。
- ✓ 私道、路地、または未舗装道路から道路に進入する運転手は、すでに本線道路を走行している車に道を譲らなければなりません。

5.11 出入りが制限されている高速道路への進入と退出

高速道路に進入するには、加速車線を使って交通の流れと同じ速度に達してから合流する必要があります。退出する際は、本線から出た後に減速車線を使って速度を落とします。進入時には、高速道路上の交通に道を譲らなければなりません。

- ✓ 高速道路に進入する際は、すでに高速道路を走行している車両に優先権を譲らなければなりません。
- ✓ 合流する前に、加速車線の全長を使って交通の流れと同じ速度に達してください。
- ✓ 退出する際は、高速道路本線ではなく、減速車線で速度を落としてください。
- ✓ 出口を逃した場合は、次の出口まで進まなければなりません。高速道路やランプで停止したり後退したりしては絶対にいけません。

5.12 フロリダ州の「ムーブオーバー法」

ムーブオーバー法は、停車中の緊急車両、法執行車両、清掃車両、公共事業車両、保守車両、および警告灯を点灯している故障車両を保護するため、ドライバーが車線を変更するか、大幅に減速することを義務付けています。

- ✓ 複数車線のある道路では、停車中の車両に最も近い車線を空けなければなりません。安全に車線を変更できない場合は、制限速度より時速20マイル（MPH）遅い速度まで減速しなければなりません。
- ✓ 2車線の道路では、制限速度より時速20マイル（MPH）遅い速度まで減速しなければなりません。
- ✓ 2車線の道路の制限速度が時速20マイル（MPH）以下の場合は、時速5マイル（MPH）まで減速しなければなりません。

5.13 頭上車線使用信号の理解

頭上車線信号は、リバーシブルレーンや料金所などで交通の流れを管理するために使用されます。赤色の「X」は車線が閉鎖されていることを示し、緑色の矢印は車線が通行可能であることを示します。

- ✓ 車線の上にある赤色の「X」の点灯は、その車線を走行してはならないことを意味します。
- ✓ 車線の上にある黄色の「X」の点灯は、その車線がまもなく閉鎖されるため、安全に車線から移動する必要があることを意味します。
- ✓ 車線の上にある緑色の矢印は、その車線を使用できることを意味します。

5.14 工事区域での安全運転

工事区域では、オレンジ色のひし形の標識、交通整理装置、旗振り員が交通を誘導します。ドライバーは速度を落とし、通常とは異なる状況に備えなければなりません。旗振り員や工事区域の標識に従わないことは、違法であり危険です。

- ✓ 工事区域では、標識、交通整理装置、旗振り員からのすべての指示に従わなければなりません。
- ✓ バリケードやパネル装置の縞模様は、交通が進むべき方向に向かって下向きに傾斜しています。
- ✓ 点滅する矢印パネルは、別の車線に移動する必要があることを事前に警告します。

5.15 運転前の車両安全点検

運転する前に、ブレーキ、ライト、タイヤなど、車両の主要な安全部品を素早く点検することが不可欠です。車内では、シートとミラーを調整し、すべての同乗者がシートベルトを着用していることを確認してください。

- ✓ 車両の後部窓が不透明な場合は、両側に少なくとも200フィート後方が見えるサイドミラーを装備しなければなりません。
- ✓ エンジンをかける前に、シートとミラーを調整し、すべてのドアをロックして、シートベルトを締めてください。
- ✓ 後退する際は、右腕を助手席の背もたれに置き、後部窓から直接後方を確認してください。ミラーやカメラだけに頼らないでください。

5.16 環状交差点（ラウンドアバウト）の通行ルール

環状交差点（ラウンドアバウト）は、交通が反時計回りに流れる円形の交差点です。交差点に進入するドライバーは、すでに内部を走行している車両に道を譲らなければなりません。複数車線の環状交差点では、車線選択が重要です。

- ✓ 環状交差点に進入するドライバーは、すでに内部を周回している車両に道を譲らなければなりません。
- ✓ 環状交差点内の交通は、常に反時計回りに進みます。
- ✓ 環状交差点内では、車線変更や停止をしないでください。
- ✓ 複数車線の環状交差点では、右折または直進する場合は右側の車線を、直進、左折、またはUターンする場合は左側の車線を使用してください。

5.17 合法的な駐車のルール

公道に駐車する際は、交通の流れの方向に沿って右側に駐車しなければなりません。車両は縁石に近づけ、平行になるようにしてください。

- ✓ 一方通行の道路を除き、道路の右側に駐車しなければなりません。
- ✓ 右側の車輪は、縁石または路肩と平行にし、12インチ以内に収めなければなりません。
- ✓ 駐車後は、パーキングブレーキをかけ、シフトレバーを「パーキング」（オートマチック車）または「リバース」（マニュアル車）に入れなければなりません。

CHAPTER 6

Chapter 6: SPECIAL DRIVING SITUATIONS

6.1 視界不良時の運転

霧、煙、大雨など視界が悪い状況では、フロリダ州の法律により安全確保のための特定の行動が義務付けられています。ヘッドライトを点灯しなければなりません。重要なのは、ロービームを使用することです。ハイビームは霧や雨に反射して、さらに視界を妨げる原因となります。覚えておくべきフロリダ州特有の重要な法律は、フロントガラスのワイパーを作動させるときはいつでもヘッドライトを点灯しなければならないということです。道路の右側端の線を視覚的な目安として利用し、注意をそらすものをすべて排除してください。

- ✓ 視界が悪い状況で運転する際は、ヘッドライトを点灯しなければなりません。
- ✓ 霧、煙、大雨の中ではロービームを使用してください。ハイビームは視界を悪化させます。
- ✓ フロリダ州の法律では、ワイパーを使用する際はいつでもヘッドライトを点灯することが義務付けられています。

6.2 雨、ハイドロプレーニング現象、冠水道路への対処

雨は路面を滑りやすくし、制動距離を長くします。車間距離をより長く取る必要があります。車両が水の膜の上を滑るハイドロプレーニング現象は、大きなリスクです。速度を落とし、タイヤの溝が十分で、空気圧が適切であることを確認することで防ぐことができます。ブレーキが濡れた場合は、速度を落とし、正常に機能するまでブレーキペダルを軽く踏んでください。冠水した道路を決して走行しようとしないでください。水の深さや流れは不明であり、車両が流される可能性があります。

- ✓ 濡れた路面では制動距離が長くなるため、車間距離をより長く取ってください。
- ✓ ハイドロプレーニング現象は、タイヤが路面との接触を失ったときに発生します。速度を落としてこれを防いでください。
- ✓ 冠水した道路に遭遇した場合は、必ず引き返して別のルートを見つけてください。決して走行しないでください。

6.3 夜間運転に関するフロリダ州のヘッドライト法

フロリダ州の法律には、夜間のヘッドライトの使用に関する非常に具体的な規則があり、これらは頻繁に試験で問われます。ヘッドライトは日没から日の出まで使用しなければなりません。対向車から500フィート以内にいる場合は、ハイビームからロービームに切り替えなければなりません。また、前の車から300フィート以内で追従している場合もロービームを使用しなければなりません。パーキングライトのみを使用して運転することは違法です。ハイビームは時速25マイル以上の速度で最も効果的で、最大450フィート先までの物体を照らすことができます。

- ✓ 日没から日の出までヘッドライトを使用しなければなりません。
- ✓ 対向車から500フィート以内にいる場合は、ロービームヘッドライトを使用しなければなりません。
- ✓ 前の車から300フィート以内にいる場合は、ロービームヘッドライトを使用しなければなりません。
- ✓ ヘッドライトの代わりにパーキングライトのみを使用して運転することは違法です。

6.4 道路上の動物への対応

道路で動物に遭遇した場合、最優先事項は車両のコントロールを維持し、より深刻な衝突を避けることです。対向車線や路外へ急ハンドルを切らないでください。正面衝突を起こしたりコントロールを失ったりするよりは、動物と衝突する方が安全です。時間があれば、減速し、軽くブレーキをかけ、クラクションを鳴らしてください。衝突が避けられない場合は、しっかりとブレーキをかけ、道路上にとどまってください。シカやクマなどの大型動物が関与する衝突事故は、法執行機関に報告しなければなりません。

- ✓ 動物を避けるために、対向車線や路外へ急ハンドルを切らないでください。
- ✓ 衝突が避けられない場合は、車両をコントロール下に置き、道路上にとどまってください。
- ✓ クマ、シカ、家畜などの大型動物が関与する衝突事故は、法執行機関に報告しなければなりません。

CHAPTER 7

Chapter 7: HANDLING EMERGENCIES

7.1 法執行機関による交通取締り時の適切な手順

法執行官に停止を命じられた際は、運転手と警察官双方の安全を確保するため、冷静を保ち、特定の手順に従うことが極めて重要です。これには、安全に路肩に寄せて停車し、エンジンを切り、両手を常に見える位置に置き、書類を取り出す前に指示を待つことが含まれます。交通違反切符への署名を拒否すると、逮捕につながる可能性があります。

- ✓ 緊急車両のライトが見えたら、ウィンカーを出し、安全が確認でき次第、速やかに路肩に寄せて停車してください。
- ✓ 警察官から別の指示があるまで、両手はハンドルの上か、他の見える場所に置いてください。
- ✓ 運転免許証、登録証、または保険証に手を伸ばす前に、警察官の指示を待ってください。
- ✓ 交通違反切符への署名の拒否は、罪を認めることにはなりませんが、逮捕される可能性があります。

7.2 事故後のドライバーの責任と義務

フロリダ州の法律では、死亡、負傷、または物損事故に関与したすべてのドライバーに対し、停車し、救護を行い、情報を提供することが義務付けられています。事故が軽微で車両が交通を妨げている場合は、車両を移動させなければなりません。警察への報告が不要な物損のみの事故の場合、ドライバーはFLHSMVに報告書を提出する必要があります。

- ✓ 負傷、死亡、または物損を伴う事故に関与した場合、必ず現場に停車しなければなりません。
- ✓ 事故が軽微で、あなたの車両が交通の流れを妨げている場合、法律により車両を移動させることが義務付けられています。
- ✓ 事故が物損のみで、法執行機関への報告が不要な場合、10日以内にFLHSMVに書面で報告書を提出しなければなりません。
- ✓ 無人の車両や所有物に衝突した場合、所有者を探すか、氏名、連絡先、ナンバープレート番号を記載したメモを残さなければなりません。

7.3 事故現場からの立ち去り（ひき逃げ）に対する重罰

フロリダ州では、事故現場から立ち去る行為には、事故の重大性に応じて重くなる厳しい罰則が科せられます。これらの罰則は、物損事故に対する軽犯罪（misdemeanor）から、死亡事故に対する第一級重罪（first-degree felony）にまで及び、負傷または死亡が関与する事故の場合は、義務的な懲役刑と最低3年間の免許取り消しが含まれます。

- ✓ 死亡事故の現場から立ち去ることは、最低4年の懲役刑を伴う第一級重罪（1st degree felony）です。
- ✓ 負傷、重傷、または死亡が関与する事故の現場から立ち去った場合、運転免許は最低3年間取り消されます。
- ✓ 他人が同乗または管理している車両や所有物に損害を与えた事故の現場から立ち去ることは、第二級軽犯罪（2nd degree misdemeanor）です。

7.4 ABSと従来のブレーキによる緊急ブレーキ

正しい緊急ブレーキの技術は、お使いの車両にアンチロック・ブレーキ・システム（ABS）が搭載されているかどうかによって異なります。従来のブレーキの場合は、ポンピングブレーキを行います。ABSの場合は、ブレーキペダルを強く踏み込み、そのまま保持し、ハンドルを操作する必要があります。ABS搭載車でポンピングブレーキを行うと、システムが解除されてしまいます。

- ✓ 従来のブレーキでの緊急時には、コントロールを維持するためにポンピングブレーキを行う必要があります。
- ✓ アンチロック・ブレーキ（ABS）での緊急時には、ブレーキペダルを強く踏み込み、しっかりと保持し、危険を避けるようにハンドルを操作しなければなりません。
- ✓ ABS搭載車では決してポンピングブレーキを行わないでください。システムがオフになります。

7.5 横滑り（スキッド）またはハイドロプレーニング現象の修正

車両が横滑りまたはハイドロプレーニング現象を起こし始めたら、駆動力（トラクション）と制御を取り戻さなければなりません。直ちにアクセルから足を離し、ブレーキは使用しないでください。横滑りを修正するには、車両を進ませたい方向にハンドルを回してください（滑っている方向にハンドルを切る）。

- ✓ 横滑りを修正するには、アクセルペダルから足を離し、ブレーキをかけないでください。
- ✓ 車両の前輪を進行したい方向に向けてください。これは、滑っている方向にハンドルを切ることを意味します。

7.6 線路上でエンストした場合の緊急手順

車が線路上でエンストした場合、状況は非常に危険です。直ちに全員を車から降ろし、線路から遠く離れてください。列車が接近している場合は、自分の車や衝突による破片に当たらないように、線路から45度の角度で列車に向かって離れるように走ってください。

- ✓ 車が線路上でエンストした場合は、直ちに車から降りて、全員を車から遠ざけてください。
- ✓ 列車が来ている場合は、線路から45度の角度で列車が来る方向に向かって走ってください。

7.7 水没した車両からの脱出

車が水中に転落した場合、沈むまでに30秒から60秒という非常に短い時間しかありません。最優先事項は脱出することです。安全に外に出るまで911に電話しないでください。シートベルトを外し、サイドウィンドウを下げるか割るかして外に出てください。

- ✓ 車両は水に入ってから30秒から60秒しか浮きません。直ちに脱出しなければなりません。
- ✓ 主な脱出経路はサイドウィンドウです。シートベルトを外し、次にウィンドウを下げるか割ってください。
- ✓ 車両から脱出するまで、ドアを開けようとしたり、911に電話したりしないでください。

7.8 走行中のタイヤのパンク（バースト）への対処法

タイヤのパンク（バースト）は、突然コントロールを失う原因となり得ます。正しい対処法は、ハンドルをしっかりと握り、アクセルペダルから足を離し、ブレーキは使わないことです。車をまっすぐに保つように、ハンドル操作に集中してください。車が減速し、コントロールできる状態になってから、ゆっくりとブレーキをかけ、完全に路肩に寄せて停車してください。

- ✓ タイヤがパンク（バースト）した場合、ブレーキは使わず、アクセルペダルから足を離してください。
- ✓ ハンドルをしっかりと握り、車をまっすぐに進ませることに集中してください。
- ✓ 徐々に減速し、車が完全にコントロールできるようになってから路肩に寄せてください。

7.9 停電時の交差点の通行方法

停電により交差点の信号機が作動していない場合、その交差点は法的に四方向一時停止として機能します。ドライバーは完全に停止し、四方向一時停止のルールに従って優先権を譲らなければなりません。最初に到着した車両が先に進み、2台が同時に到着した場合は、左側のドライバーが右側のドライバーに進路を譲ります。

- ✓ 信号機が作動していない交差点は、四方向一時停止として扱わなければなりません。
- ✓ 四方向一時停止では、車両は到着した順に進みます。
- ✓ 複数の車両が同時に到着した場合、左側のドライバーは右側のドライバーに進路を譲らなければなりません。

7.10 防衛運転と衝突回避の優先順位

防衛運転とは、潜在的な危険や他者の行動を予測し、安全な戦略を用いて衝突を防ぐことです。衝突が避けられなくなった場合、損害や負傷を最小限に抑えるための明確な選択の優先順位があります。目標は、最も深刻度の低い結果となる選択肢を選ぶことです。

- ✓ 対向車線にハンドルを切るより、道路外にハンドルを切る方が良いです。
- ✓ 正面衝突するより、同じ方向に進んでいる車に衝突する方が望ましいです。
- ✓ 木や柱のような固い物体より、生け垣のような柔らかい物体に衝突する方が良いです。

7.11 事故現場での基本的な応急手当と安全確保

事故現場で救助にあたる際、最優先事項は助けを呼び、自分自身の安全を確保することです。応急手当を行う際には、避けるべき重要な行動があります。首や脊椎の損傷が疑われる人を決して動かしてはならず、負傷したオートバイや自転車の運転手からヘルメットを外そうとしてはいけません。

- ✓ 首や脊椎に損傷を負っている可能性のある負傷者を動かさないでください。
- ✓ 負傷したオートバイや自転車の運転手のヘルメットを外そうとしないでください。
- ✓ ショック状態の処置として、その人を平らに寝かせ、脚を高く上げ、毛布で覆って体温を維持してください。

7.12 追突事故の防止と回避

追突事故を防ぐため、ドライバーは自分の車の前方と後方のスペースを管理しなければなりません。これには、最低4秒間の安全な車間距離を保ち、早めに意思表示をし、急停止を避けることが含まれます。速度が遅すぎる運転は、スピード違反と同じくらい危険な場合があります。

- ✓ 前の車に衝突するのを避けるため、最低4秒間の車間距離を維持してください。
- ✓ すべての右左折、停止、車線変更の際には、後ろのドライバーに十分な警告を与えるために、早めに合図を出してください。
- ✓ 徐々に減速して急停止を避け、制限速度内で交通の流れに合わせて運転してください。

7.13 車両故障時の対応手順

車両が故障した場合、最優先事項は車両を完全に車線から出すことです。ハザードランプを点灯させ、各方向から200フィートの距離で見える場所に駐車して、車両を視認しやすくしてください。安全のため、すべての同乗者は交通のない側から降車してください。

- ✓ 故障した車両は、4つの車輪すべてが車線外に出るように、できるだけ早く移動させなければなりません。
- ✓ 可能であれば、故障した車両が各方向から200フィートの距離で見える場所に駐車し、ハザードランプを点灯させてください。
- ✓ すべての同乗者に、交通のない側から車両を降りるよう指示してください。

7.14 アクセルペダルが固着した場合の対処法

アクセルペダルが戻らなくなった場合は、迅速に行動して車両を減速させる必要があります。まず行うべきことは、トランスミッションをニュートラルに入れることです。これにより、エンジンがホイールから切り離されます。その後、ブレーキをかけ、安全な場所までハンドルを操作します。ニュートラルへのシフトが失敗した場合を除き、エンジンを切らないでください。パワーステアリングが無効になります。

- ✓ アクセルペダルが固着した場合、最初のステップは車をニュートラルに入れることです。
- ✓ ニュートラルに入れた後、ブレーキをかけ、安全な場所に停止するようにハンドルを操作します。
- ✓ すぐにエンジンを切らないでください。パワーステアリングが効かなくなり、車両の制御が困難になります。

7.15 車輪が舗装路から外れた場合の回復方法

右側の車輪が舗装路の端から外れた場合、過剰なハンドル操作を避けることが極めて重要です。冷静さを保ち、ハンドルをしっかりと握り、アクセルから足を離してください。車両が減速してから軽くブレーキをかけ、交通状況を確認し、低速で穏やかにハンドルを操作して舗装路に戻ります。

- ✓ 車輪が舗装路から外れたら、アクセルペダルから足を離し、急ブレーキをかけないでください。
- ✓ ハンドルをしっかりと握り、減速するまで直進してください。
- ✓ 安全が確認できたら、コントロールを失わないように低速で舗装路に戻ってください。

CHAPTER 8

Chapter 8: SHARING THE ROAD

8.1 自転車利用者の権利と自動車運転者の責任

フロリダ州では、自転車は法的に車両と見なされ、公道において自動車と同じ権利と責任を有します。自動車運転者は、自転車の周囲では特に注意を払い、追い越す際には十分な間隔を空けなければなりません。自転車利用者も、自転車レーンが利用可能な場合はそれを使用し、夜間には適切なライトを点灯するなど、従うべき規則があります。

- ✓ フロリダ州法では、自動車運転者は自転車を追い越す際に最低3フィートの間隔を空けることが義務付けられています。
- ✓ 車線が狭すぎて自動車と自転車が安全に共有できない場合、自転車利用者は車線全体を使用することができます。
- ✓ 日没から日の出までの間、自転車利用者は500フィート先から見える白色の前照灯と、600フィート先から見える赤色の尾灯および反射板を備えなければなりません。
- ✓ 16歳未満のすべての自転車利用者および同乗者は、ヘルメットの着用が義務付けられています。

8.2 緊急車両への進路の譲り方

サイレンを鳴らしたり、赤色灯を点滅させたりして緊急車両が接近してきた場合、すべての道路利用者は進路を譲らなければなりません。これには、安全かつ速やかに自分の車を緊急車両の進路から移動させることが含まれます。

- ✓ サイレンを鳴らしたり、赤色灯を点滅させたりしている警察車両、消防車、その他の緊急車両に進路を譲らなければなりません。
- ✓ 直ちに道路の最も近い端に車を寄せ、緊急車両が通過するまで停止してください。
- ✓ 緊急車両に進路を譲る際、交差点をふさがないでください。

8.3 オートバイとモペットの安全な運転

オートバイの運転者には、一つの車線をすべて使用する権利があります。車体が小さいため、他のドライバーがその速度や距離を判断するのは難しい場合があります。したがって、自動車の運転者は、車線変更や右左折の際に、十分なスペースを確保し、注意を払う必要があります。また、運転者には特定の免許やヘルメットに関する法律もあります。

- ✓ オートバイの運転者は車線全体を使用する権利があります。オートバイと車線を共有しようとしないでください。
- ✓ オートバイの後方を走行する際は、4秒以上の車間距離を維持してください。
- ✓ オートバイの運転者は、21歳以上で、かつ最低10,000ドルの医療給付が付いた医療保険に加入している場合を除き、ヘルメットを着用しなければなりません。
- ✓ オートバイの運転者は、安全講習を修了し、運転免許証にオートバイの裏書（endorsement）を取得しなければなりません。

8.4 歩行者に対する運転者の責任

運転者は、歩行者との衝突を避けるためにあらゆる可能な手段を講じなければなりません。これには、標示のある横断歩道および標示のない横断歩道で歩行者のために停止すること、また視覚障がい者や移動が困難な人の周りでは細心の注意を払うことが含まれます。

- ✓ 標示のある横断歩道や交差点で横断中の歩行者のためには、停止し、停止し続けなければなりません。
- ✓ 横断歩道で歩行者のために停止している車両を追い越したり、追い抜いたりしてはなりません。
- ✓ 先端が赤い白杖を使用している、または介助動物を連れている視覚障がい者の歩行者には、完全に停止して道を譲らなければなりません。

8.5 フロリダ州におけるスクールバスのための停止

フロリダ州の法律は、子供たちを乗せたり降ろしたりしているスクールバスのための停止に関して非常に厳格です。規則は道路の種類によって異なります。

- ✓ 対面通行の道路では、どちらの方向に走行しているすべてのドライバーも、停止信号を表示しているスクールバスのために停止しなければなりません。
- ✓ 盛り上がった障壁または幅5フィート以上の未舗装の中央分離帯で分割された高速道路では、バスと反対方向に走行している場合は停止する必要はありません。
- ✓ ペイントされた線や路面標示は障壁とは見なされません。この場合、両方向の交通は停止しなければなりません。

8.6 スクールゾーンの横断歩道と交通誘導員の規則

ドライバーはスクールゾーンや学校の横断歩道では特に注意を払う必要があります。交通誘導員がいる場合は、その指示に従い、横断歩道上の歩行者のために停止しなければなりません。

- ✓ 横断歩道に子供や交通誘導員がいる場合は、道を譲り、停止線で停止しなければなりません。横断歩道内で停止してはいけません。
- ✓ ドライバーは交通誘導員のすべての信号と指示に従わなければなりません。

8.7 商用自動車（CMV）との道路の共有

セミトラックなどの商用自動車は、その大きさから、前方、後方、両側面に「ノーゾーン」（No Zones）として知られる大きな死角があります。ドライバーはこれらのエリアに長居することを避けるべきです。安全な車間距離を保つことが非常に重要であり、CMVが方向転換や後退をするときは特に注意が必要です。

- ✓ CMVの前方、後方、両側面にある大きな死角である「ノーゾーン」（No Zone）には入らないでください。
- ✓ CMVを追い越す際は、車線に戻る前に、自分のバックミラーでトラックの運転台が見えることを確認してください。
- ✓ CMVは右折するために左に大きく振ることがよくあります。CMVと縁石の間を走行しないでください。
- ✓ 後退しているCMVの後ろを決して横切らないでください。ドライバーの視界は完全に遮られています。

8.8 葬列に遭遇した場合の規則

フロリダ州では、葬列が優先通行権を持ちます。自動車、自転車、歩行者は道を譲らなければなりません。先頭車両が合法的に交差点に進入した後は、残りの車両は交通制御装置に関係なく追従することができます。

- ✓ すべての道路利用者は、葬列に優先通行権を譲らなければなりません。
- ✓ 先頭車両が交差点に進入した後は、交通信号が変わっても、列の残りの車両はそのまま通過することができます。
- ✓ 葬列の車両は、ヘッドライトを点灯しており、ハザードランプを点滅させている場合もあります。

8.9 公共交通機関のバスへの進路の譲り方

フロリダ州では、指定された待避所から交通の流れに合流しようと合図を出している公共交通機関のバスに進路を譲らなければなりません。

- ✓ 同じ方向に走行中で、交通に合流するために合図を出した公共交通機関のバスに進路を譲らなければなりません。
- ✓ この規則は、バスが特別に指定された待避所から発進するときに適用されます。

8.10 低速走行車両の識別と対応

農機具などの特定の車両は、時速25マイル（MPH）未満で走行するように設計されています。これらの車両が公道を走行する際は、後部に特定のオレンジ色と赤色の三角形の標識を表示することが義務付けられています。

- ✓ 後部に赤い縁取りとオレンジ色の中央部を持つ三角形の標識を表示している車両は、低速走行車両（時速25マイル未満）です。
- ✓ これらの車両は、夜間走行に適したライトを装備していない限り、日中のみ運行しなければなりません。

8.11 フロリダ州の低速走行車（LSV）に関する法規

低速走行車（LSV）とは、最高速度が時速21〜25マイルの四輪車です。公道で運転するには、登録と保険加入が義務付けられており、免許を持つ運転者が指定された道路でのみ運転できます。

- ✓ LSVは、掲示されている制限速度が時速35マイル以下の道路でのみ運転できます。
- ✓ LSVの運転には有効な運転免許証が必要です。
- ✓ LSVは、対人傷害保険（PIP）および対物損害賠償責任（PDL）保険に加入し、登録する必要があります。

8.12 ゴルフカートの操作規則

ゴルフカートは、指定された道路またはゴルフコースでのみ運転できます。公道での操作は、年齢、時間帯、および道路の種類によって制限されます。

- ✓ 18歳未満の者は、有効な仮運転免許または運転免許を所持していない限り、公道でゴルフカートを運転することはできません。
- ✓ ゴルフカートは、地方自治体によって特別に許可され、夜間走行用の装備がされている場合を除き、日の出から日没までの間のみ操作できます。
- ✓ ゴルフカートは、制限速度が45 MPH以下の州道を横断できますが、交通制御装置のある交差点でのみ可能です。